

Today's Goal「いちばんのおすすめポイントについてくわしく伝えよう！」
(Big Goal: 星置東小の5年生に大分のおすすめの場所を紹介しよう)

本時は、北海道札幌市立星置東小学校の5年生に「大分に行ってみよう」と思ってもらえるような紹介をするために、付け加える紹介内容について思考ツールを活用して友達と考えたり、何度も発話して練習したりすることを通して、紹介文が具体的で自分の考えや気持ちが入るように紹介内容を思考していった。



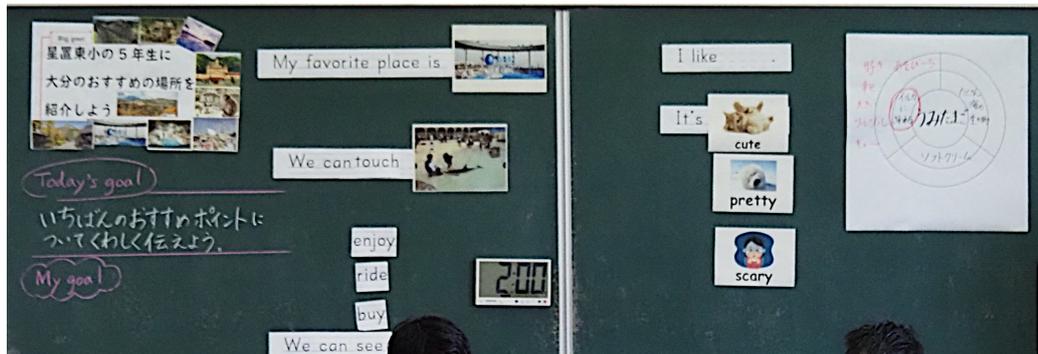
前時の自分の表現を動画で確認



第九Song (既習表現) の活用



児童は、前時までの紹介内容を動画で確認し、“第九 Song (Classroom English Song)”等教室掲示にある既習表現、中間指導でのおすすめ表現や困りの共有、ALT からのアドバイス等を情報として活用していた。北海道の小学生に大分の魅力が伝わるように、思考ツールに内容を付け加えたり、友達と相談したりして、自分の紹介文を意欲的に見直していた。



事後研究会では、関西外国語大学英語キャリア学科小学校教員コースの直山教授から、「紹介内容を改善する方法は、“付け加える”だけではない。“減らす”“順番を変える”などもある。」「教師の出番は、「その文で本当に伝わるの?」と問い、目的意識や伝える相手の状況の確認をするだけ。もっと児童にじっくり考える時間を作ってあげたい。」等の指導をいただいた。「必然性や楽しさに繋がる単元ゴールの工夫については、よく練られていて、ぜひ参加者の皆さんも参考にしてほしい」との話もいただき、成果と課題が明らかになる事後研究会となった。

